

長良川花火、美捉える

岐阜大名譽教授 宮崎さん初写真展

岐阜市

内科医で岐阜大名譽教授の宮崎青爾さん(78)＝岐阜市八代＝の初めての写真展「宙の花、地の花」が4日、岐阜市八代の蔵ギャラリー・茶室「八白庵」で始まった。長良川の花火大会などで撮った花火や、花火に見立てて撮った花の写真42点が並び、8日まで。

宮崎さんは京都大で哲学を学んだが医学の道へ。41歳の時に来岐し、岐阜大医学部教授などとして高血圧

の治療法を研究。定年退職した今は笠松町の松波総合病院に勤務している。

趣味の写真は50代後半から熱を入れ、子どもの頃から親しんでいる花火を中心に撮影。ズームで花火の細部に迫り、1本1本の光が偶然見せる表情をアートのように切り出している。

会場では、実線と破線が織り成す色とりどりの光の軌跡、筆で描いたように見える光の軌跡など花火の写真をはじめ、花火のように撮ったヒマワリやアジサイなど花の写真を展示。6日午後3時からは宮崎さんの長女でピアニストの西濱由有さん(41)らによるピアノ、バイオリン、チェロの演奏もある。(瀬戸覚旨)



花火の写真や花火に見立てた花の写真を展示する宮崎青爾さん
＝岐阜市八代、蔵ギャラリー・茶室「八白庵」